スマホで遠隔水管理「水田ファーモ」

株式会社ぶらんこ
永井洋志

経営規模＼用途	稲作	露地野菜	施設野菜	果樹	花卉
大規模	◎				
中規模	◎				
小規模	◎				

開発の経緯

はじめのきっかけは2016年の冬、もともといちごの生産者向けにスマートフォンでハウス内の環境が見られるモニタリングシステムを開発していた私たちのところへ、栃木県宇都宮市の職員から水田でも何か便利な提案をもらえないか、というのがきっかけだった。

水稲栽培に詳しくない私たちだったが、高齢化の現状や水田の団地化の難しさ、さらに水管理に多大な労力をかけている現状を知り、スマートフォンで遠くの水田の状態がわかるようになれば足を運ぶ回数も減り省力化できるのではないかと考え、水田の水位を測るセンサとそれを表示させるアプリの開発をするに至った。

その後6件の水稲農家の協力を得て実証事業を行い、生産者の切実な要望を肌で感じ、それを解消することへ期待や重要さを知ることができ

た。さらにそれを達成するための技術的な課題も浮き彫りとなり現在の弊社の技術の礎となっている。

こうして生まれた水位センサだったが、提供してみるとその便利さはもちろんだが利用者が口をそろえて言う言葉があった。「これでスマホから水が出せたらなぁ」当然の言葉だった。その後2